

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(令和3年3月実施分)

1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3以上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:102)
2. 調査実施時期 令和3年3月
3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

[(回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率(%)) - (回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率(%))]
(最大値100/最小値-100)

5. 調査結果(回答工場数:90社 / 回答率:88.2%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
R2.6	31	<i>32</i>	<i>13</i>	-	-	-
R2.9	-	29	<i>11</i>	<i>8</i>	-	-
R2.12	-	-	-5	<i>-2</i>	<i>-10</i>	-
R3.3	-	-	-	-40	<i>-40</i>	<i>-37</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
当年	204,586	195,235	148,727	-	-	-
(前年)	183,683	177,410	152,805	193,380	204,586	195,235
対前年比	111%	110%	97%	-	-	-

(概況)

原木在庫量は減少傾向。原木の入荷量は少なく、製品生産の持ち直し等に伴い前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

雪で入荷なし/受注少なく影響なし/自社造材班で調整/受入制限なし/輸入材不足からトドマツにシフト/不足状況続く/去年は多かった/燃料材と競合/製材の動き出して積極的に集荷/運搬動かず入荷少なめ

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
R2.6	-78	<i>-89</i>	<i>-78</i>	-	-	-
R2.9	-	-82	<i>-84</i>	<i>-74</i>	-	-
R2.12	-	-	-67	<i>-71</i>	<i>-58</i>	-
R3.3	-	-	-	-37	<i>-17</i>	<i>-5</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
当年	186,163	176,812	192,954	-	-	-
(前年)	205,340	212,330	221,166	181,768	186,163	176,812
対前年比	91%	83%	87%	-	-	-

(概況)

原木消費量は低調。4月以降はやや持ち直すも前年を下回る見通し。コロナや輸入材の動向が不透明で見通しが立てづらい状況。

(回答企業の主なコメント)

受注少量/やや荷動きは悪いが影響なし/DIY製品の需要増/持ち直しの動き/コロナ禍で流通量は小刻みに変化/地元の漁業・建築次第/梱包は悪い/輸入材高騰で羽柄材等の需要増/7月以降は見通し立たず

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
R2.6	17	<i>26</i>	<i>15</i>	-	-	-
R2.9	-	18	<i>9</i>	<i>-2</i>	-	-
R2.12	-	-	-21	<i>-21</i>	<i>-29</i>	-
R3.3	-	-	-	-37	<i>-49</i>	<i>-51</i>

原木在庫量(「林産工場動態調査」より)※月平均 (m3)

	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
当年	284,236	280,015	229,930	-	-	-
(前年)	234,584	237,959	218,917	254,678	284,236	280,015
対前年比	121%	118%	105%	-	-	-

(概況)

原木在庫量は減少傾向。原木の入荷量は少なく、製品生産の持ち直し等に伴い前年を下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)

原木調達に苦労/合板用材・燃料材と競合/不足状況継続/去年は多かった/積極的に集材/輸入材の不足で需要増/運材車不足で入荷少量/注文が出始め原木不足を懸念

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
R2.6	-85	<i>-92</i>	<i>-79</i>	-	-	-
R2.9	-	-87	<i>-84</i>	<i>-64</i>	-	-
R2.12	-	-	-65	<i>-71</i>	<i>-51</i>	-
R3.3	-	-	-	-20	<i>10</i>	<i>10</i>

原木消費量(「林産工場動態調査」より) (m3)

	2020.4-6	2020.7-9	2020.10-12	2021.1-3	2021.4-6	2021.7-9
当年	205,643	204,317	225,130	-	-	-
(前年)	282,191	276,138	259,279	227,922	205,643	204,317
対前年比	73%	74%	87%	-	-	-

(概況)

原木消費量は前年を下回るも、4月以降は前年やや上回る見通し。コロナや輸入材の動向が不透明で見通しが立てづらい状況。

(回答企業の主なコメント)

製材注文入らず/ラミ若干回復/米中貿易摩擦時の程度に回復/全体注文減少/去年並/要強度製品の受注増/フラ製品との競合で減/輸出用梱包材が好調/ワケン効果に期待/受注戻るも先行き不透明

道内の木材需給の見通し（令和3年3月調査分）

—令和3年4月公表—

北海道水産林務部林務局林業木材課
北海道森林管理局森林整備部資源活用第一課

原木在庫・製品荷動き 前年同時期と比較した製材・合板工場の見通し（原木及び木材製品の流通に関する調査（北海道）による）

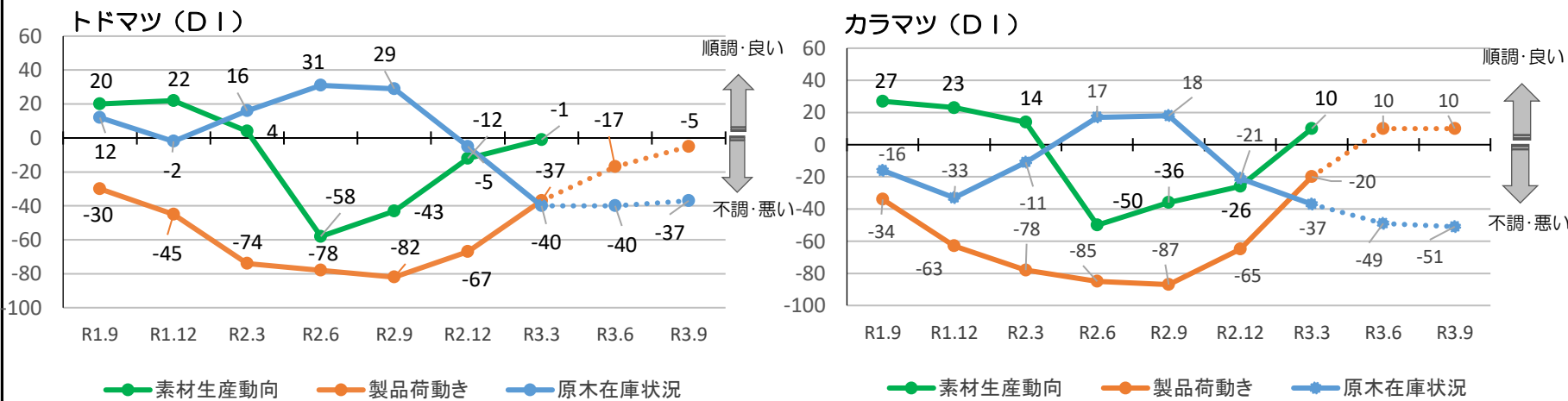
	《1~3月》	《4~9月見通し》		《凡例》
トドマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は減少傾向で、前年を下回っており、原木入荷量が少なく、製品生産の持ち直し等に伴い、前年を下回る見通し。	《原木在庫》 《前年を上回る》 《前年並み》 《前年を下回る》
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では低調に推移しており、やや持ち直すも前年を下回る見通し。輸入材の動向等が不透明で見通しが立てづらい状況。	
カラマツ			○製材、合板工場の「原木在庫」は減少傾向で、前年を下回っており、原木入荷量が少なく、製品生産の持ち直し等に伴い、前年を下回る見通し。	
			○製材、合板工場の「製品荷動き」は原木消費量での判断では低調に推移しているが、4月以降は前年をやや上回る見通し。輸入材の動向等が不透明で見通しが立てづらい状況。	

素材生産動向 前月と比較した林業事業体の見通し（素材生産動向調査（北海道森林管理局）による）

	《1~3月》	《4~9月見通し》		《凡例》
トドマツ			○「素材生産動向」は「順調」20%、「並み」61%、「不調」19%となっており、並み程度の見通しに回復。	《順調》 《並み》 《不調》
カラマツ			○「素材生産動向」は「順調」29%、「並み」61%、「不調」10%となっており、順調な見通しに回復。	

素材生産と製材・合板工場の原木在庫・製品荷動きのDI
 ○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し

※「判断指数（DI）」＝（「順調・良い」とした比率（％））－（「不調・悪い」とした比率（％））

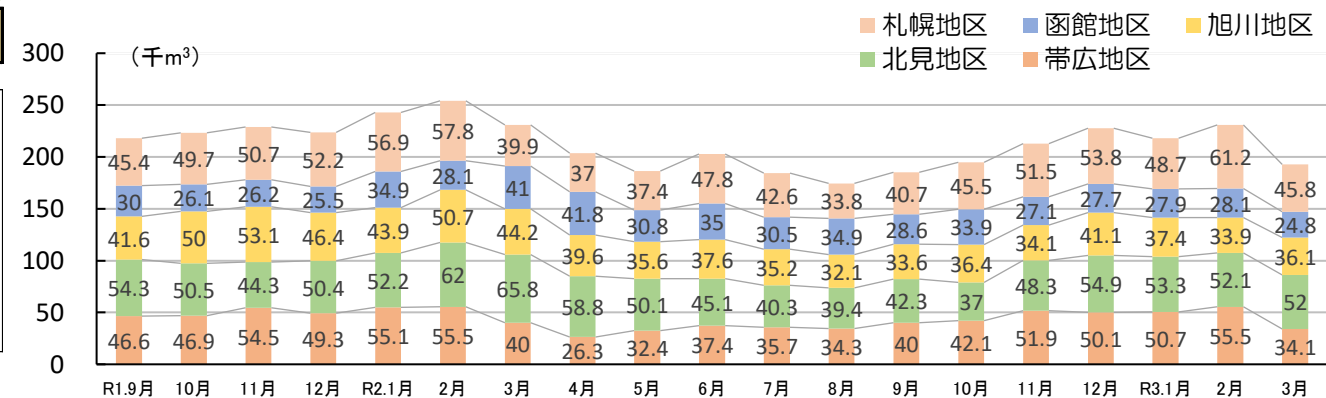


《参考情報》

注：回答のあった北海道登録林業事業体の数値で全道の素材生産量の合計数値ではありません。

素材生産量の推移

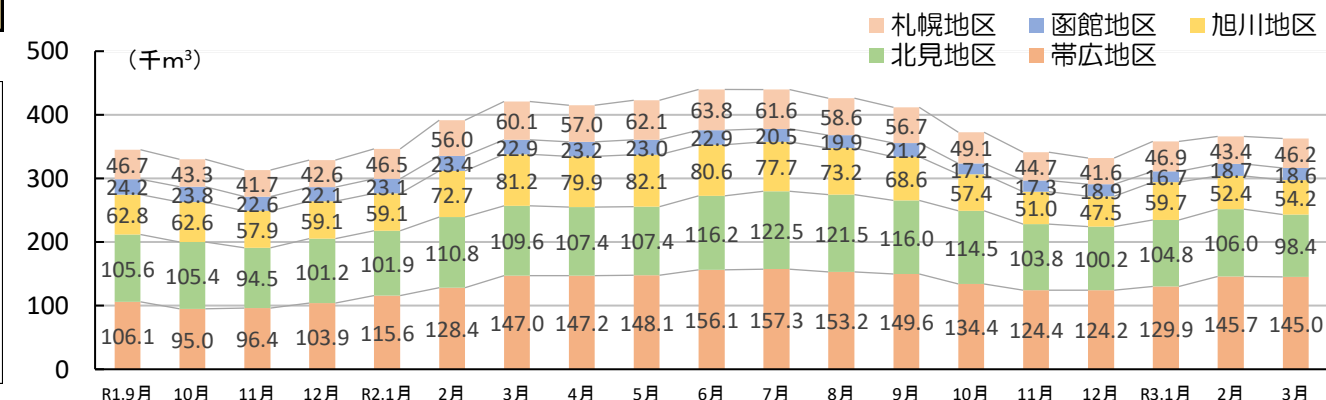
- 3月の素材生産量は前月比38千m³減の192.8千m³
- 4月の素材生産量は29.7千m³減の163.1千m³の見通しで、全地区で減る見通し



出典：素材生産動向調査（北海道森林管理局）による

製材工場の原木在庫量の推移

- 3月のトドマツ原木在庫量は前年同月に比べて減少し、原木消費量は前年同月並みの見込み
- 3月のカラマツ原木在庫量は前年同月に比べて減少し、原木消費量は前年同月並みの見込み



出典：製材工場動態調査（北海道）による

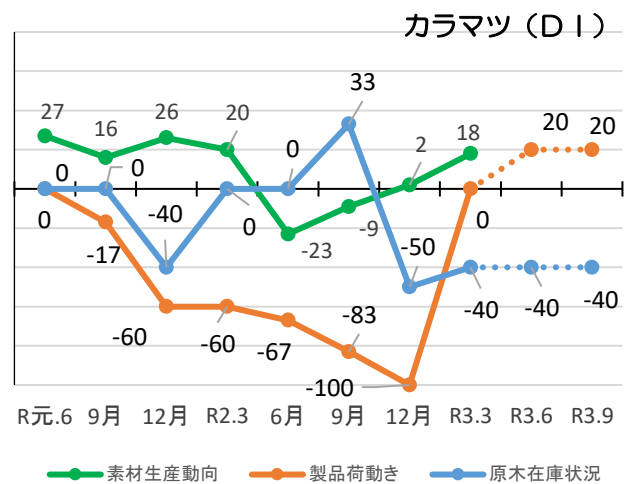
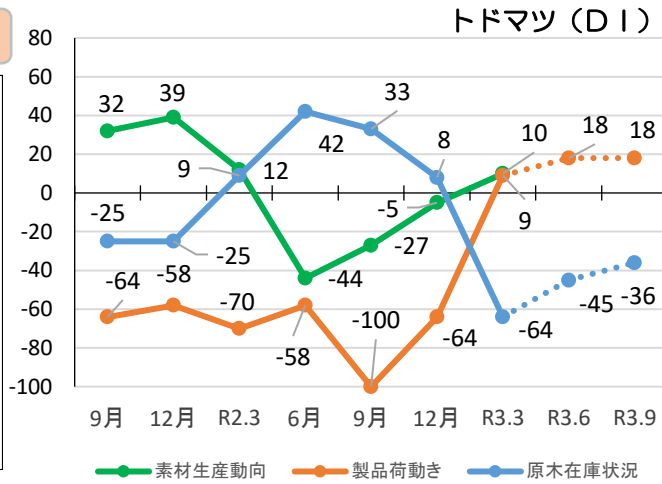
注：道内のカラマツ、トドマツ製材工場の合計数値でR3.1~3月は速報値でエゾマツを含む

素材生産と原木在庫・製品荷動きのDI（地区別）

○素材生産のDIは、前月と比較した判断指数 ※点線は今後の見通し
 ○原木在庫、製品荷動きのDIは、前年同時期と比較した判断指数

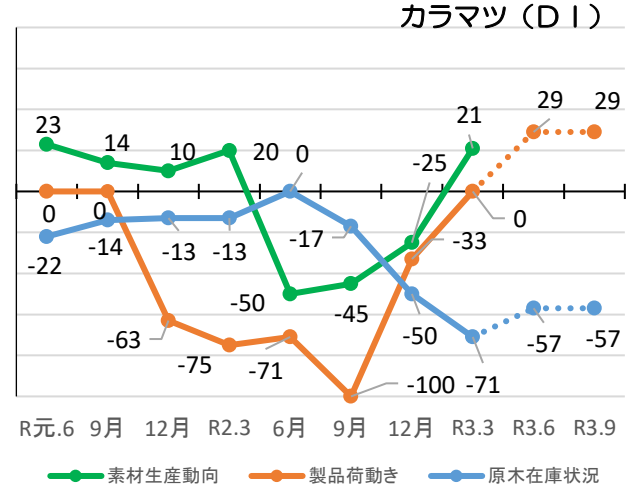
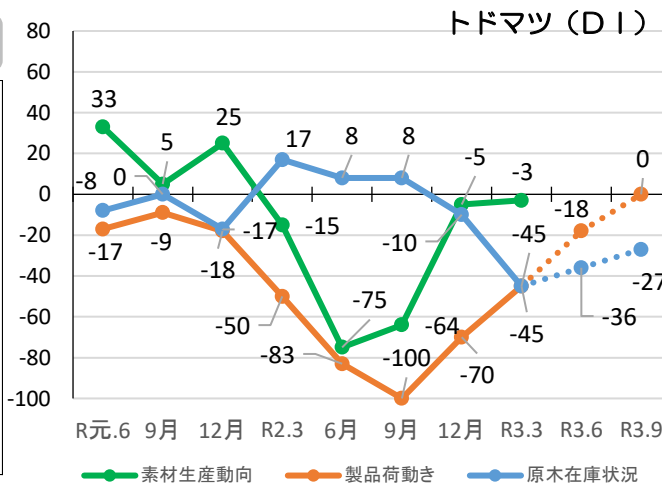
札幌地区（石狩・空知・胆振・日高）

- 【トドマツ】**
 ・素材生産は、順調の見通しに回復
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し
- 【カラマツ】**
 ・素材生産は、順調の見通しに回復
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



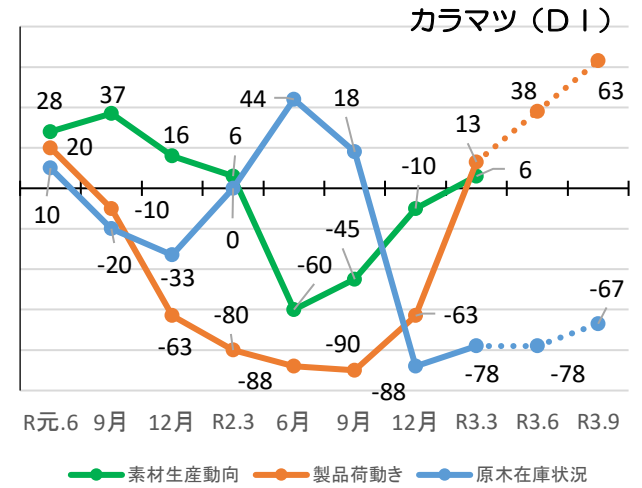
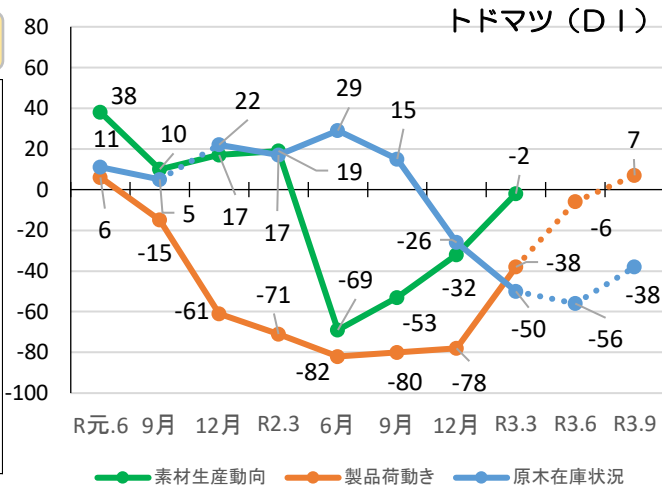
函館地区（渡島・檜山・後志）

- 【トドマツ】**
 ・素材生産は、やや不調の見通し
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは下回るも回復傾向の見通し
- 【カラマツ】**
 ・素材生産は、順調の見通しに回復
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



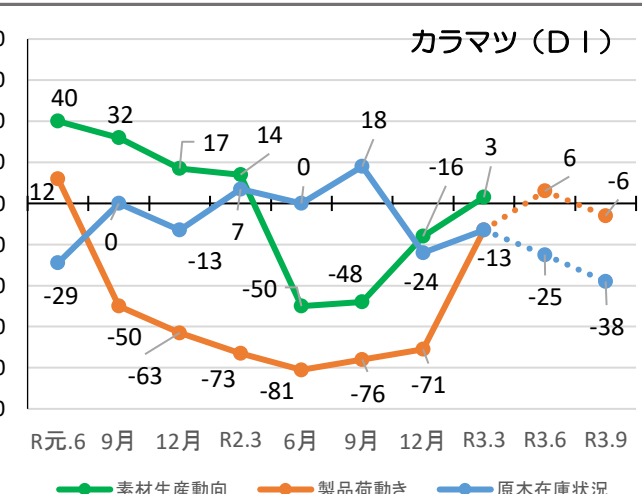
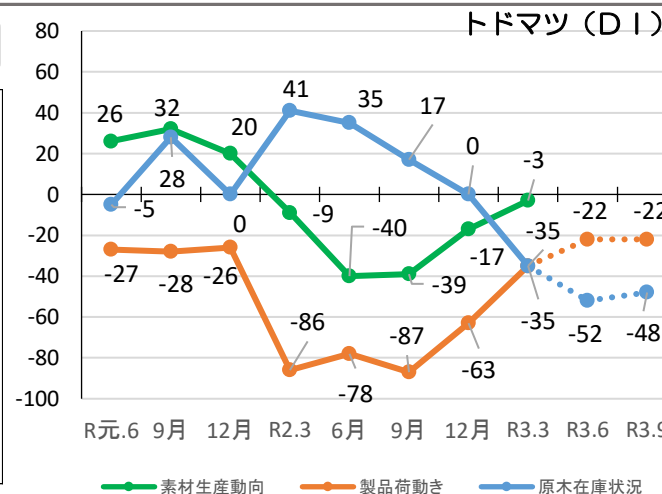
旭川地区（上川・留萌・宗谷）

- 【トドマツ】**
 ・素材生産は、不調の見通しも回復傾向
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きはやや下回るも回復傾向の見通し
- 【カラマツ】**
 ・素材生産は、並み程度の見通し
 ・原木在庫は前年を大きく下回り、製品荷動きは前年を上回る見通し



北見地区（オホーツク）

- 【トドマツ】**
 ・素材生産は、並み程度の見通しに回復
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回る見通し
- 【カラマツ】**
 ・素材生産は、並み程度の見通しに回復
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年をやや下回る見通し



帯広地区（十勝・釧路・根室）

- 【トドマツ】**
 ・素材生産は、不調の見通し
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回るも回復傾向の見通し
- 【カラマツ】**
 ・素材生産は、順調の見通しに回復
 ・原木在庫は前年を下回り、製品荷動きは前年を下回るもやや回復傾向の見通し

